



第4章

実証された意外な事実

洗浄水から飲料水へ

創生水の開発は決して平坦なものではありませんでした。何回も挫折を繰り返しました。開発当初は、洗剤やシャンプーの代わりになる水はできないものかと模索していました。シャンプーを薄めて、その薄めたシャンプーを泡状にして噴射する装置をつくったこともあります。実験の途中で洗剤を飲み込んでしまつて病院に担ぎ込まれたこともありました。開発費用に億単位のお金をかけてせっかくなつくつた機械でしたが、ある大学の先生から「いくら薄めても毒は毒だよ」という一言で私自身の人生観が一八〇度変わったことも前にも述べたとおりです。

やはり正々堂々と化学物質を一切使わなくても汚れが落ちる水をつくろう、洗剤を使わなくて済む水をつくろう、ということを念頭に新しい水の開発に取り組んでいったのです。そうした開発の過程で私は、私に突きつけられたいくつもの課題をクリアしていかなければなりませんでした。その一つが洗浄効果がある水を飲んでも大丈夫なのか、というごく素朴な疑問に答えることでした。

洗剤のいらない水を飲んだら身体に悪影響を及ぼすのではないか、という疑いを皆さんが持ち始めるのです。私がどんなに説明しても理解してくれませんでした。当初、この創生水生成装置は「洗浄太郎」というネーミングでしたから、なおのこと反発があったのか

もしれません。

そこで、私は創生水が洗浄効果とともに飲用水として身体の健康を守り、健康を促進させることに役立つ水である、という証明をしていこうと決心したのです。

便や血液の採取にひと苦労

この証明はまさに、私の人生をかけた闘いになりました。自分の身体を使って、自分の血液や便を使ってあらゆる調査をしていったのです。その過程で多くの方の協力をいただいたことには心から感謝しています。JR上田駅前の公衆便所の前に立って、見も知らない人から「便を取っていただけませんか」と何度頭を下げたことでしょうか。出るものはないかと思つて高を括っていましたが、とんでもありませんでした。調査というのがいかに難しいか、多くの方の協力なしではできないことかと実感したものです。

創生水が人間の身体にどういう影響を及ぼすか、ということを経験して血液や便、尿などを使って調べ始めたわけです。そして私は、人間の健康や病気をつかさどる一つの物差しが「酸化」と「還元」そして水素イオン濃度（pH）ではないか、と考えていくようになりました。老化する、病気になるというのは身体が酸化していくことではないか、と気づいたのです。

そこで何はともあれ尿と便の酸化還元電位と水素イオン濃度を測ろうと考えたのです。水道水を飲んでいて、創生水を飲んでいて人の便や尿のpHや酸化還元電位を調査してきました。同時にさまざまな食品や水、穀類などについても調べていったのです。

そして最後には血液を調べてみたくまりました。血液と水と考えれば、血液も健康度合によって酸化したり、還元電位が変わっていくのではないかと考えたわけです。

独自につくった酸化還元電位、水素イオン濃度の位置図

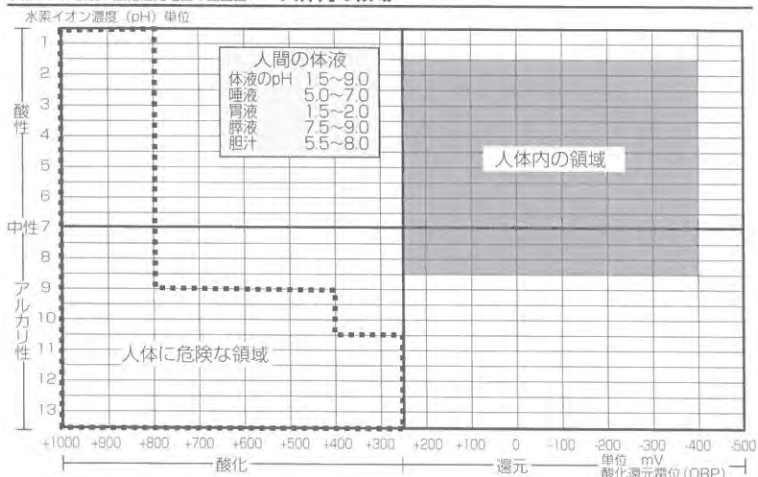
それらの調査をまとめてデータ化したのが「水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図」です。水をはじめとして土壌や野菜・果樹、洗剤・漂白剤・工業用油、尿や便そして血液に至るまで水素イオン濃度と酸化還元電位を調べていきました。

その結果、人体内の領域は図で示したように、酸性で還元域にあることがわかりました。そして私が開発した創生水はこのゾーン内に位置していることが図でおわかりいただけると思います。

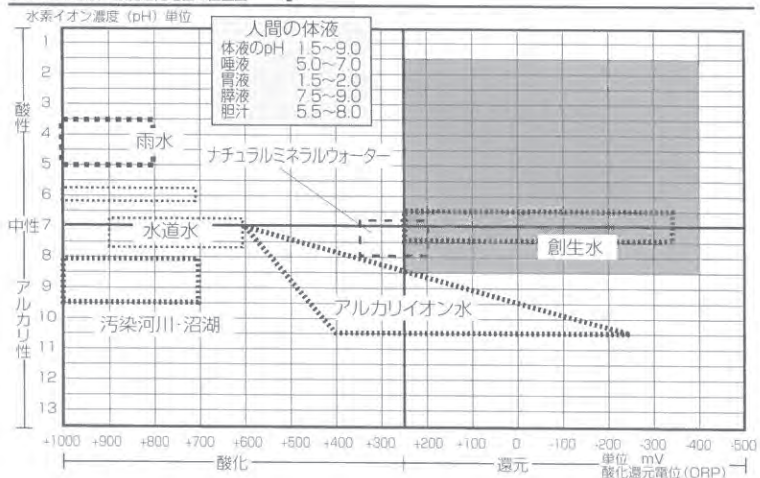
現在の雨水、河川や湖の水そして水道水などはすべて酸化域に位置しているのです。

土壌は水素イオン濃度（pH）四・五〜八・五、酸化還元電位はプラス二五〇ミリボルト

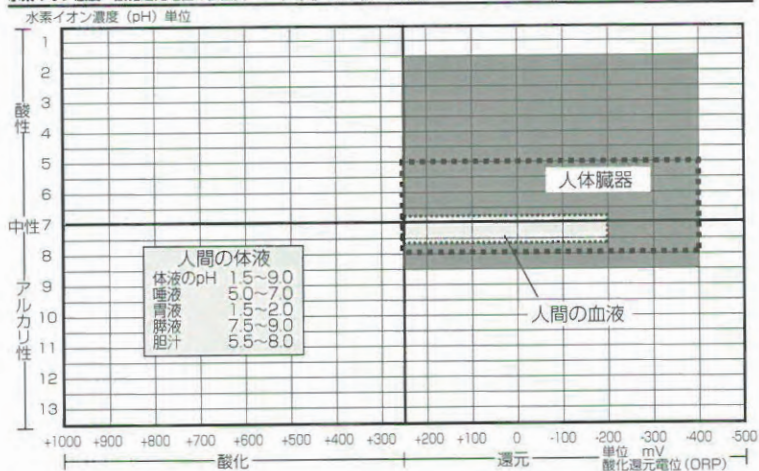
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 人体内の領域



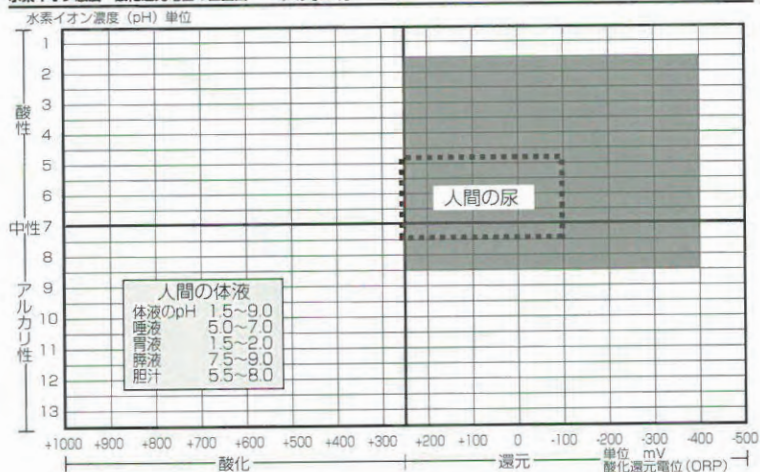
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 水



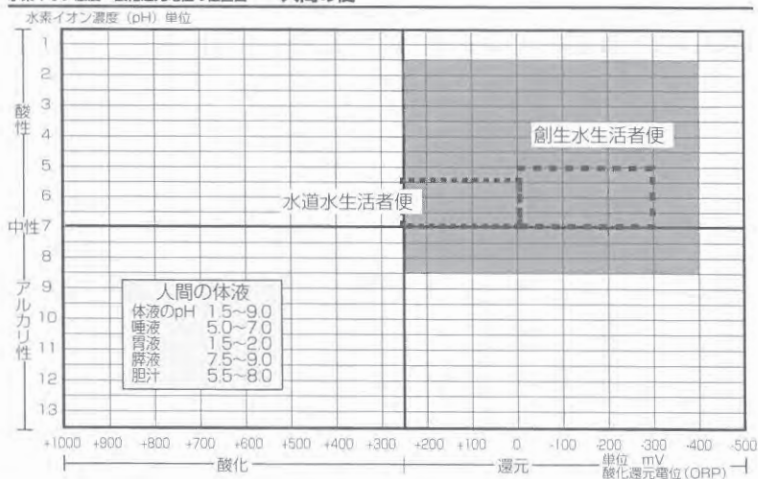
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 人間の血液・臓器



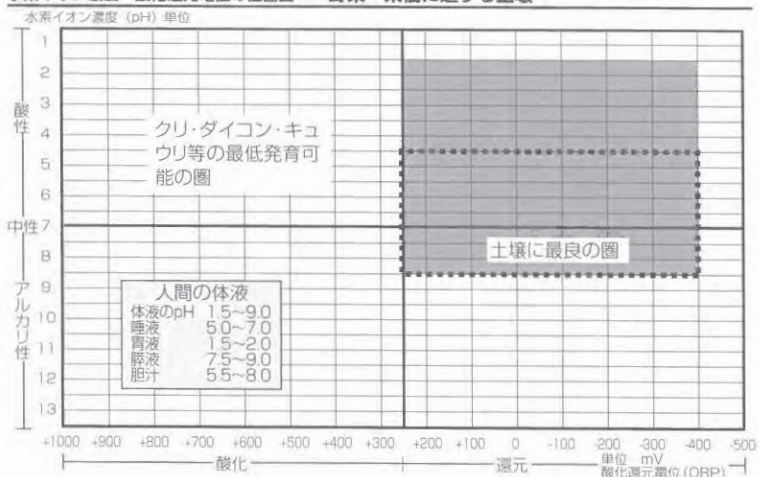
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 人間の尿



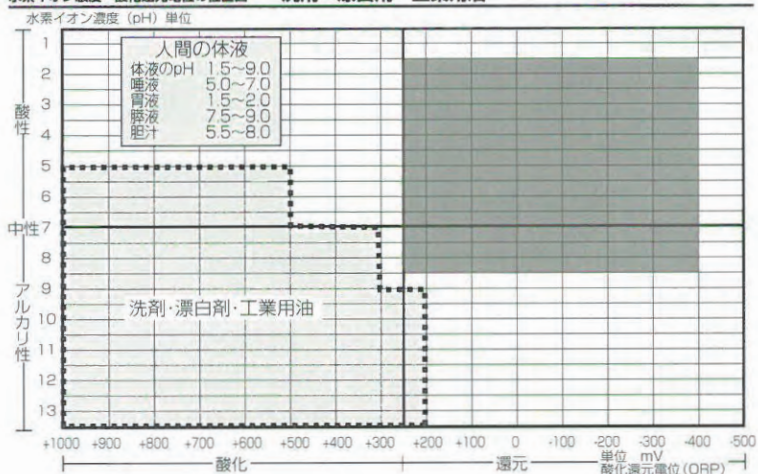
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 人間の便



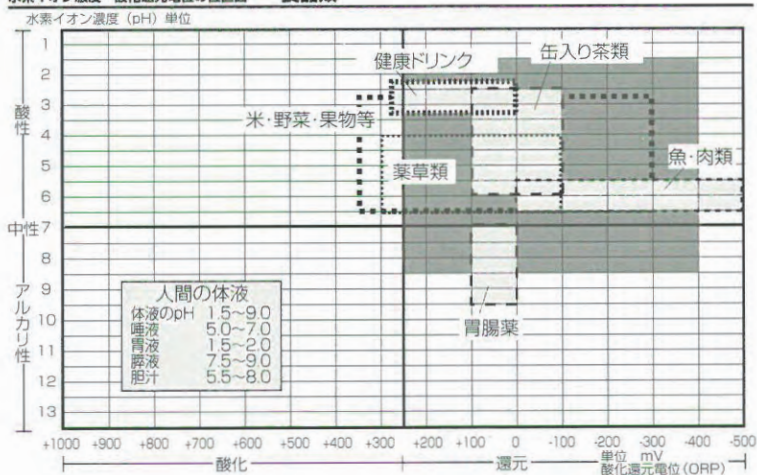
水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 野菜・果樹に適する土壌



水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 洗剤・漂白剤・工業用油



水素イオン濃度 酸化還元電位の位置図 — 食品類



からマイナス四〇〇ミリボルトの位置になります（二七五ページ）。大地に育てられた野菜なども同じ位置にあります。そして人間の体内から排泄された便も酸性で還元しています。しかしガンなどの病気を抱えている人の便は酸化しています。腸内の異常発酵という現象がここに見られるのです。母乳で育った赤ちゃんの便のpHは四・五〜五・五、ミルクで育った赤ちゃんの便は五・五〜六・五、通常の大人の便は六・〇〜七・〇、肉食をやめている人の便のpHは五・五〜六・〇です。ちなみに創生水を飲んでいる私の便はpH五・五で、それ以上高くなったことはありません。つまり、母乳を飲んでいる赤ちゃんと同じ値です。

血液の酸化還元電位の測定は一筋縄ではいきませんでした。というのも健康な人の血液を採取する、というのはどこの病院に行っても受けつけてくれないからです。最終的に長野健康センターの協力を得ることができたのですが、採取した血液を長野市から上田市まで運んで測定すると時間がかかり、血液が凝固してしまいます。私はどうしても凝固しない新鮮な血液を測定したかったので、ORP測定器を長野健康センターに持ち込んで採血直後の血液を測定させていただくことにしたのです。

その結果は次のとおりでした。

男性四〇歳　マイナス一〇ミリボルト（水道水）

女性一六歳 マイナス六〇ミリボルト（水道水）

男性四七歳 マイナス一〇〇ミリボルト（創生水）

（水質検査Ⅱ上田市の水道水六一八ミリボルト 創生水マイナス一五〇ミリボルト）

人間の血液は図（一七四ページ）に示したように還元電位プラス二五〇ミリボルト〜マイナス二〇〇ミリボルトのゾーン内に位置します。また、水素イオン濃度は六・八〜七・六のなかにあります。私が考えたとおりに、創生水を飲むことによって、血液が還元されることがわかったのです。

血液が酸化するということは老化することであり、還元するということは老化を防ぎ、病気を引き起こす要因が少なくなる、ということなのです。

光岡教授・寺田教授との出会い

こうした調査・研究を進めている過程で、私と同じように人間や動物の便を調べ、腸内の環境について研究されている先生がいることを単行本で知りました。その先生は日本獣医畜産大学で教鞭をとられている光岡知足先生でした。腸内細菌によって老化を防止でき